

教材を作成する現場から実況風に —『語法と読解』—

英語

対面

4/14(日) お茶の水校3号館

何か刺激を得たいと思ったら。



大島 保彦

30年ほど続けてきた講習の教材を改訂しようと思っています。教材名は『語法と読解』(それ以前に、『上級語法研究』『上級語法演習』の時期もありました)。その改訂の一端を、現場からの報告のようにお話しします。あわよくば参加者の方々からの知恵もお借りして、一層の内容充実をはかりたい、などと。まあ、そこがきっかけで、いろんな方向へ話が発散しつつ、様々な知的世界の共有をめざします。おもしろければ元気も出ます。

高校英語のリスニング&スピーキング —共通テストを見据えて—

英語

対面

4/7(日) 駿台外語&ビジネス専門学校

生徒の英語耳を少しずつ鍛え、共通テストのリスニングに備えさせる様々なアイデアをお話しします。



藤澤 恒夫

1回読みとなり、内容が長く高度になった共通テストの聞き取り問題に対し、ただ過去問を流して解く、は最終的な調整にすぎません。リスニング・スピーキングを通常授業にどう取り入れれば授業が活性化するのか。どう練習すれば生徒が能動的に取り組まれるのか。身近な題材を使って、生徒を想定したデモ授業を交えながら具体的にお話ししてまいります。